浄化槽の正しい使い方



浄化槽は、主に微生物の働きによって生活排水をきれいにする装置です。正常に機能させるために、正しく使用しましょう。



台所から天ぷら油や調理くずは流さないようにしましょう。流入すると、浄化槽に負担がかかり浄化性能が低下してしまいます。鍋や皿の油汚れは紙でよく拭き取ってから洗ってください。



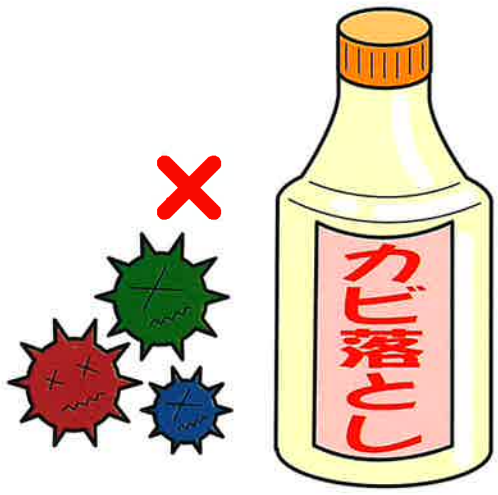
トイレにトイレットペーパー以外の異物を流さないようにしましょう。特に、新聞紙、タバコの吸い殻、紙オムツ、衛生用品などは絶対に流さないでください。



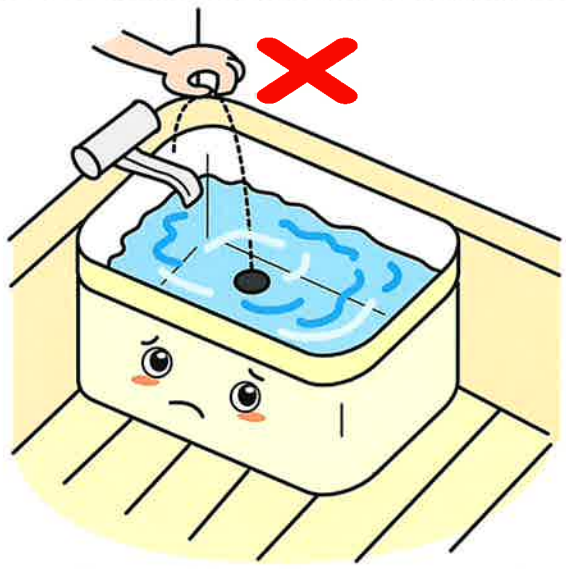
トイレ掃除に薬品等を使わないでください。市販のトイレ用洗剤ならほとんどのものは問題ありませんが、塩酸類などの薬品は絶対に使わないでください。



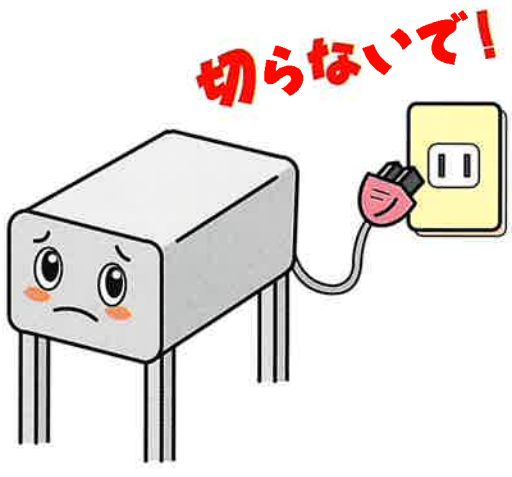
洗濯洗剤は適量を使用しましょう。多量に使用しても、無駄になるだけで水を汚すことになります。洗剤は、できるかぎり無リンの洗剤を使用してください。また、漂白剤も控えめに。



カビ落とし剤の使用は控えめにしてください。カビ落とし剤は、微生物を殺してしまいます。適度に使って、使用後は十分に水を流しておくようにしましょう。



一度に多量の水を流さないようにしましょう。多量の水が流入すると、浄化槽の浄化性能が低下します。洗濯のすすぎ時に浴槽の栓を抜かないでください。お風呂の水は温かいうちに流しましょう。



ブロワー（送風機）の電源は絶対に切らないようにしましょう。浄化槽内の微生物には、ブロワーからの空気が必要です。長期不在のときでも絶対に電源は切らないでください。



浄化槽を無断で改造しないようにしてください。
※例えば、ふたの部分の改造などはやめてください。



浄化槽本体の上に荷物や車を置かないようにしましょう。